



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2011年3月期第2四半期 決算説明会

TDK株式会社
2010年10月28日

- ◆ **2011年3月期上半期連結業績**
2011年3月期連結業績見通し
代表取締役 社長 上釜 健宏
- ◆ **2011年3月期 第2四半期 連結業績概要**
経理部長 桃塚 高和
- ◆ **受動部品事業について**
取締役/常務執行役員 荒谷 真一
- ◆ **記録デバイス事業について**
常務執行役員 小林 敦夫

2011年3月期上半期連結業績 2011年3月期連結業績見通し

代表取締役社長
上釜 健宏

2011年3月期上半期業績概要

	前第2四半期累計 (2009.4.1～2009.9.30)		当第2四半期累計 (2010.4.1～2010.9.30)		増減	
	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	%
売上高	385,851	100.0	442,234	100.0	56,383	14.6
営業利益(△損失)	5,402	1.4	37,188	8.4	31,786	588.4
税引前利益(△損失)	953	0.2	34,644	7.8	33,691	-
当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	1,140	0.3	26,116	5.9	24,976	-
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)金額: - 基本	8円 84銭		202円 46銭			
為替レート 対米ドル 対ユーロ	95円53銭 133円21銭		88円89銭 113円80銭		7.0%の円高 14.6%の円高	
為替変動による影響金額	売上高: 282億円の減収 営業利益: 84億円の減益					

2011年3月期上半期決算の特徴

- ◆ エレクトロニクス市場は回復基調が継続するとみられたが、
停滞感が広がりつつある
回復度合いはセット製品により異なる
 - ✓ スマートフォン、タブレットPC、自動車、産業機器は堅調
 - ✓ 薄型TV、LCDパネル、ノートPC、HDDは生産調整発生
- ◆ 受動部品の売上高が増加
 - ✓ 前年同期比23.3%増
 - 幅広いセット製品向けにコンデンサ、インダクティブ・デバイスの販売が増加
 - EPCOSとの相乗効果により、携帯電話向けに高周波部品の販売が増加
- ◆ 磁気応用製品の売上高は前年同期比微増
 - ✓ 前年同期比5.1%増
 - 記録デバイスの販売がHDD市場の生産調整及び円高の影響を受け販売の伸びが鈍化(前年同期比2.3%増)

2011年3月期 通期業績見通し

◆ 下期のエレクトロニクス市場の動向は不透明

期 科目		2011年3月期 予想 2010年10月発表	2011年3月期 予想 2010年4月 2010年7月 発表	2010年3月期 実績	2010年3月期対比 増減	
		金額	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	億円	8,800	8,800	8,089	711	8.8
営業利益	億円	620	620	258	362	140.6
税引前当期純利益	億円	600	600	219	381	173.9
当社株主に帰属する当期純利益	億円	450	450	135	315	232.8
固定資産の取得	億円	750	750	644	106	16.5
減価償却費	億円	820	820	838	△18	△2.1
研究開発費	億円	530	530	539	△9	△1.7

前提となる為替条件

対米ドル=80円

対ユーロ=115円

2011年3月期 配当金見通し

◆ 1株当たり配当金見通し

中間配当金 40円

期末配当金 40円(予定)

年間配当金 80円(予定)

下期以降に向けて

- ◆ エレクトロニクス市場の動向は不透明
- ◆ このような市場環境下でも成長が期待出来る市場に対して、より一層積極的に新製品を投入して行く
 - 成長が期待出来る市場分野
 - ✓ 通信分野(高機能3G端末、スマートフォン)
 - ✓ EV/HEV/PHEVを含む自動車分野
 - ✓ 環境・再生可能エネルギー分野
- ◆ 中国拠点を中心にした生産効率の改善を加速させる

2011年3月期 第2四半期 連結業績概要

經理部長
桃塚 高和

2011年3月期第2四半期 連結業績概要

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	%
売上高	204,305	100.0	220,309	100.0	16,004	7.8
営業利益(△損失)	9,047	4.4	16,979	7.7	7,932	87.7
税引前利益(△損失)	6,371	3.1	15,826	7.2	9,455	148.4
当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	4,356	2.1	11,593	5.3	7,237	166.1
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)金額: - 基本	33円 77銭		89円 87銭			
為替レート 対米ドル 対ユーロ	93円73銭 133円75銭		85円88銭 110円67銭		8.4%の円高 17.3%の円高	
為替変動による影響金額	売上高: 189億円の減収 営業利益: 52億円の減益					

売上高の前年同期比較

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
コンデンサ	336	16.4	377	17.1	42	12.4
インダクティブ・デバイス	289	14.2	343	15.6	54	18.6
その他受動部品	313	15.3	375	17.0	62	19.8
受動部品 計	938	45.9	1,095	49.7	157	16.8
記録デバイス	710	34.8	653	29.7	△ 57	△ 8.0
その他磁気応用製品	252	12.3	269	12.2	17	6.7
磁気応用製品 計	963	47.1	922	41.9	△ 40	△ 4.2
その他	143	7.0	186	8.4	43	30.0
売上高合計	2,043	100.0	2,203	100.0	160	7.8

売上高・営業利益の前年同期比較

事業セグメント売上高

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
受動部品	938	45.9	1,095	49.7	157	16.8
磁気応用製品	963	47.1	922	41.9	△ 40	△ 4.2
その他	143	7.0	186	8.4	43	30.0
売上高合計	2,043	100.0	2,203	100.0	160	7.8

事業セグメント利益(△損失)

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	売上高比(%)	金額(億円)	売上高比(%)	金額(億円)	%
受動部品	2	0.2	73	6.6	71	-
磁気応用製品	113	11.8	125	13.6	12	10.8
その他	12	8.6	17	9.0	4	36.3
小計	127	6.2	215	9.8	88	69.1
全社及び消去	△ 37		△ 45		△ 8	
営業利益合計(△損失)	90	4.4	170	7.7	79	87.7

四半期連結損益計算書

(単位:百万円, %)

期 科 目	前第2四半期 (2009.7.1~2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1~2010.9.30)		増 減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売 上 高	204,305	100.0	220,309	100.0	16,004	7.8
売 上 原 価	156,011	76.4	163,996	74.4	7,985	5.1
売 上 総 利 益	48,294	23.6	56,313	25.6	8,019	16.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	38,493	18.8	39,334	17.9	841	2.2
リストラクチュアリング費用	754	0.4	-	-	△ 754	-
営 業 利 益 (△ 損 失)	9,047	4.4	16,979	7.7	7,932	87.7
営 業 外 損 益 :						
受 取 利 息 及 び	480		306		△ 174	
受 取 配 当 金						
支 払 利 息	△ 1,349		△ 759		590	
為 替 差 益 (△ 損 失)	△ 1,104		△ 977		127	
そ の 他	△ 703		277		980	
計	△ 2,676	△ 1.3	△ 1,153	△ 0.5	1,523	-
税 引 前 四 半 期 純 利 益 (△ 損 失)	6,371	3.1	15,826	7.2	9,455	148.4
法 人 税 等	2,079	1.0	4,188	1.9	2,109	101.4
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益 (△ 損 失)	4,292	2.1	11,638	5.3	7,346	171.2
非 支 配 持 分 帰 属 利 益 (△ 損 失)	△ 64	△ 0.0	45	0.0	109	-
当 社 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益 (△ 損 失)	4,356	2.1	11,593	5.3	7,237	166.1

営業利益変動要因分析(前第2四半期 vs 当第2四半期)

営業利益 79億円増加の内訳

(単位:億円)

【営業利益増減 合計】 **79**

売上増による利益変動(操業度、品種構成含む) 198

合理化・コストダウン・原材料値下げ 65

販売費及び一般管理費増 Δ 30

為替変動(US\$=Yen 93.7=>85.9) Δ 52

売価値引き(4.4%) Δ 102

売上高・営業利益の四半期比較(1Q vs 2Q)

事業セグメント売上高

	当第1四半期 (2010.4.1～2010.6.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
受動部品	1,051	47.3	1,095	49.7	44	4.2
磁気応用製品	1,003	45.2	922	41.9	△ 80	△ 8.0
その他	166	7.5	186	8.4	20	12.2
売上高合計	2,219	100.0	2,203	100.0	△ 16	△ 0.7

事業セグメント利益(△損失)

	当第1四半期 (2010.4.1～2010.6.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	売上高比(%)	金額(億円)	売上高比(%)	金額(億円)	%
受動部品	62	5.9	73	6.6	11	17.6
磁気応用製品	161	16.0	125	13.6	△ 35	△ 22.0
その他	11	6.3	17	9.0	6	59.8
小計	233	10.5	215	9.8	△ 18	△ 7.8
全社及び消去	△ 31		△ 45	0.0	△ 14	45.3
営業利益合計(△損失)	202	9.1	170	7.7	△ 32	△ 16.0

受動部品事業について

取締役
常務執行役員

荒谷 真一

受動部品事業売上高の前年同期・四半期比較

前年同期比較

	前第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
コンデンサ	336	35.8	377	34.5	42	12.4
インダクティブ・デバイス	289	30.8	343	31.3	54	18.6
その他受動部品	313	33.3	375	34.2	62	19.8
受動部品 計	938	100.0	1,095	100.0	157	16.8

四半期比較(1Q vs 2Q)

	当第1四半期 (2010.4.1～2010.6.30)		当第2四半期 (2010.7.1～2010.9.30)		増減	
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	%
コンデンサ	380	36.1	377	34.5	△ 2	△ 0.6
インダクティブ・デバイス	325	30.9	343	31.3	18	5.5
その他受動部品	346	32.9	375	34.2	29	8.3
受動部品 計	1,051	100.0	1,095	100.0	44	4.2

受動部品・主要製品の四半期比較(1Q vs 2Q)

製品区分	1Q vs 2Q	増減要因
コンデンサ	△0.6%	<p>セラミックコンデンサ 自動車向け、通信機器市場向け販売が堅調に推移</p> <p>アルミ電解コンデンサ/フィルムコンデンサ 自動車、産業機器、再生可能エネルギー機器向け販売が堅調に推移 為替要因により売上高微減</p>
インダクティブ デバイス	+5.5%	<p>スマートフォン、タブレットPC向けにノイズフィルタ、電源チョークコイルなどの販売が好調</p> <p>産業機器、再生可能エネルギー機器向けノイズ対策部品などの販売も増加</p>
その他 受動部品	+8.3%	<p>高周波部品 EPCOSとのシナジー効果により携帯端末向け高周波モジュールの販売が増加</p> <p>圧電材料部品・回路保護部品/センサ スマートフォン向けアクチュエータ、回路保護部品などが堅調に推移 自動車、産業機器向けに圧電材料部品、センサのへの販売が堅調に推移</p>

記録デバイス事業について

常務執行役員

小林 敦夫

2011年3月期 記録デバイス売上高実績及び見込み

(単位:億円)

2010年7月28日発表

2010年10月28日発表

上期	1,400	1,370(実績)
下期	1,534	1,109(見込み)
通期	2,934	2,479(見込み)

補足資料

売上高区分の変更

【従来区分】

事業の種類別セグメント		主な事業
電子素材部品	電子材料	セラミックコンデンサ
		フェライトコア
		マグネット
	電子デバイス	インダクティブ・デバイス
		高周波部品
		センサ・アクチュエータ
		電源
	記録デバイス	HDD用ヘッド
		その他
	その他	アルミ電解コンデンサ
		フィルムコンデンサ
		インダクタ
		セラミックコンポーネンツ
センサ		
SAWコンポーネンツ		
エネルギーデバイス		
その他		
記録メディア製品	記録メディア	

【新区分】

事業の種類別セグメント		主な事業
受動部品	コンデンサ	セラミックコンデンサ
		アルミ電解コンデンサ
		フィルムコンデンサ
	インダクティブ・デバイス	インダクティブ・デバイス (コイル、フェライトコア、トランス)
受動部品その他	高周波部品	
	圧電材料部品及び回路保護部品	
	センサ	
磁気応用製品	記録デバイス	記録デバイス
	磁気応用製品 その他	電源
		マグネット
その他	記録メディア	
	エネルギーデバイス(二次電池)	
	メカトロニクス(製造装置)	
	その他	

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。

